

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	東京書籍（ 2 ） NEW HORIZON English Course
1 取扱内容	○ 学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習要領に定める外国語（英語）科の目標を達成する上において、取り扱いは、その目標及び内容を踏まえたものになっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	○ 題材について1年では、ALTとの出会いと挨拶、学校案内、転校生の自己紹介、学校行事、海外での生活、海外の文学、日本文化等、2年では、海外旅行、職業体験と将来の仕事、ユニバーサルデザイン、英語落語等、3年では、日本の伝統美術、熱帯雨林と環境問題、震災と避難訓練等が扱われている。 ○ 日本人と4カ国の出身の生徒及びALTとの交流を通し、興味・関心を引くような話題を取り上げている。また「学びコーナー」では音の変化・辞書の使い方・文構造等、基本的事項が取り上げられポイントがわかりやすく解説されている。 ○ be動詞が先に導入され分かりやすい言語材料の配列となっている。 ○ 発展的な学習のために、4技能の総合的活動としての「Activity」、長文理解と発表の場としての「Presentation」が設定され、日本語で少しずつ発表できるまでを丁寧に導いている。
3 内容の程度	○ 言語材料、言語活動、題材内容などすべてにおいて、平易なものから段階的に指導できるよう配慮されており、コミュニケーションのレベルや題材の扱いなども生徒の心身の発達段階に応じたものになっている。
4 内容の構成及び配列	○ 本編と資料編の2本立ての構成となっている。本編では各単元が基礎的・基本的な知識及び技能を習得する「Unit」、コミュニケーション力を育成する「Daily Scene」、学んだことを発信につなげる「Presentation」の3部構成になっている。資料編にある発展的読み物には、人権、環境防災をテーマにしたものや、興味・関心を引きやすいタイムリーな内容のものが掲載されている。 ○ 本文、挿絵、写真、図表、資料等が題材に応じて適切に配置されている。
5 創意工夫	○ 各Unitで基本文が目立つように配置され、日本語での説明があり理解しやすくなっている。また、基本文の学習に関わる活動が右ページにまとめられおり見やすくなっている。 ○ 各ページの上部と右側がコーナー別に色分けされ、色覚特性に適應するようデザインされている。 ○ 音の変化、発音記号の詳しい説明や、「辞書の使い方コーナー」があり、早い段階で主な発音記号などの導入がしやすくなっている。
6 使用上の便宜	○ 文字の大きさ、行間が適切で、生徒の発達段階を考慮したものである。 ○ 文字を書き込むための余白スペースが豊富で利用しやすい。
総合的な評価	○ 4技能の学習活動がバランスよくできるよう考慮され、内容においても生徒の興味・関心を引くとともに、発達段階に応じて、外国や日本の文化、環境、人権、福祉、防災等について考える題材が適切に扱われており、最も適している教科書である。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	開隆堂（ 9 ） SUNSHINE ENGLISH COURSE
1 取扱内容	○ 学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習要領に定める外国語（英語）科の目標を達成する上において、取り扱いは、その目標及び内容を踏まえたものになっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	○ 日常生活の身近な場面における英語の表現を取り扱い、生徒が興味・関心をもって学習できるようになっている。また、通常課の各セクションに「学習のめあて」や「My project」を導入することにより、生徒が目標を持って学習に取り組める内容となっている。 ○ 言語材料について、3年間を通じて発達段階に応じ英語での表現の幅が広げられるようになっている。 ○ 発展的な学習内容として、個別の技能を伸ばすことを意図した「Power-Up」が設けられ、複数技能を関連付けた総合的な活動にも配慮されている。
3 内容の程度	○ 言語材料、言語活動、題材内容などすべてにおいて、平易なものから段階的に指導できるよう配慮されており、コミュニケーションのレベルや題材の扱いなども生徒の心身の発達段階に応じたものになっている。
4 内容の構成及び配列	○ 各 PROGRAM のセクションは、左ページに「おぼえよう！」（Basic Dialog）、「聞いてみよう」（Listening）、「言ってみよう」（Speaking）、「使ってみよう」（Let's Try）などの基本練習を置き、右ページに本文と「書いてみよう」（Writing）が置かれ、4技能を総合的に扱う構成となっている。 ○ 本文、挿絵、写真、図表、練習問題、資料が、題材に応じて適切に配置されている。
5 創意工夫	○ 小学校における外国語活動の導入を踏まえ、1年の最初に「Let's Start」が設けられ円滑な移行ができるようになっている。 ○ 新出語句には、意味を覚えたら上半分を、発音できるようになったら下半分を塗りつぶすためのマークや、本文の下には音読した回数を塗りつぶすためのボックスがあり、生徒が自発的、自主的に学習に取り組めるようになっている。 ○ 巻末資料として、単語・熟語のリスト、切り離して使えるアクションカード、到達度を確認するためのチェック欄があるなど、生徒が自発的に活用して各技能を伸ばすことができるようになっている。 ○ 全巻に「辞書を引いてみよう／読んでみよう／使いこなそう」を設定し、辞書指導を3年間にわたって段階的にできるようになっている。
6 使用上の便宜	○ 「Basic Dialog」は文字が大きく、3学年にわたってブロック体が見やすい表示となっている
総合的な評価	○ 人権、平和、福祉、異文化、伝統文化、自然保護について幅広く題材が扱われており、言語材料の配置、内容の程度も発達段階に応じたものになっており、適している教科書である。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	学図（ 11 ） TOTAL ENGLISH
1 取扱内容	○ 学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習要領に定める外国語（英語）科の目標を達成する上において、取り扱いは、その目標及び内容を踏まえたものになっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	○ 題材について、1年では、自分や相手の好きなこと、ペットと趣味、自己紹介、友達の紹介、アレン先生の家族、アメリカの中学校、日本のお正月、点字（実際に凹凸で表示）、オーストラリアからの手紙などが扱われている。 ○ 英語の学習を通して、英語圏のみならず、広く世界に目を向けさせると共に、日常生活、学校生活、伝統文化、情報通信、共生社会、自然科学、言語・文化、交際理解、環境などについて、幅広い視野をもたせ、学習意欲を喚起するよう工夫されている。 ○ 発展的な学習内容として、「Chapter Project」において学習した表現を使って、さらに4技能を高められるようになっている。
3 内容の程度	○ 言語材料、言語活動、題材内容などすべてにおいて、平易なものから段階的に指導できるよう配慮されており、生徒の心身の発達段階に応じたものになっている。
4 内容の構成及び配列	○ 全体を本編と付録に分け、1年の本編では、「Pre-Lesson（小学校における外国語活動の復習）」、「Let's Start」と4つの「Chapter」から、2・3年は「Pre-Lesson（前学年の復習）」と4つの「Chapter」から成っている。また、付録には「身近な単語」「ローマ字」「目標文のまとめ」「不規則動詞変化表」「Word Up」などの資料や補充的な内容がおかれている。 ○ 各 LESSON の1 Section は、見開き2ページで構成されており、右上に Target Sentence があり、その下に目標文を習得するための言語活動が配置されている。
5 創意工夫	○ 各 Section に、目標文の Listening や目標文を習得するために「Listening」「Speaking」「Writing」「Listen & Report」の活動を設け、本文で学習した内容に沿ってペア、グループ、クラス全体で言語活動が行えるようになっている。 ○ 「Check It Out」では、各 Lesson で学習した文構造・文法についてまとめられており、重要なポイントが見やすく、かつ理解しやすいように色分けされている。 ○ 点字を扱った Lesson では、アルファベット等の点字が実際にページ紙面に触れてわかるように工夫されている。（1年 P.110）
6 使用上の便宜	○ 文字の大きさ、字間、行間などは、生徒の発達段階を考慮した見やすいものとなっている。
総合的な評価	○ 全体を通して、3年間を通して、発達段階に応じ英語での表現の幅が広げられるようになっており、やや適している教科書である。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	三省堂（ 15 ） NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition
1 取扱内容	○ 学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習要領に定める外国語（英語）科の目標を達成する上において、取り扱いは、その目標及び内容を踏まえたものになっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	○ 内容については、日本人の中学生と外国から来たクラスメイト、イギリス出身の ALT が、日常生活の身近な場面で交流し、また自国の文化や生活などを紹介しあっており、興味・関心をもって学習できるようになっている。また、見開き2ページの「目次」に、各 LESSON 等で学習する題材、文構造がわかりやすく配置されている。 ○ 英語学習を通して、英語圏のみならず広く世界に目を向けさせることば、日本の伝統文化、異文化、社会理解、人間理解などについて幅広く考えさせるものが取り上げられており、3年間を通して、発達段階に応じ英語での表現の幅が広げられるようになっている。 ○ 発展的な学習内容として、「Project」において複数の技能を連携させ、4技能が総合的に養われ、表現の幅が広げられるようになっている。
3 内容の程度	○ 言語材料、言語活動、題材内容などすべてにおいて、平易なものから段階的に指導できるよう配慮されており、コミュニケーションのレベルや題材の扱いなども生徒の心身の発達段階に応じたものになっている。
4 内容の構成及び配列	○ 全体を本編と付録にわけ、本編は本科の LESSON のほか、「Let's Talk」「Let's Listen」「Let's Read」に分けられている。 ○ 全体として、新出の文法事項や文構造を理解し、それぞれが段階的に身につくよう、「Drill」、「Practice」「USE」の3段階の言語活動を配置することで表現活動が段階的にできるようになっている。 ○ 本文、挿絵、写真、図表、練習問題、資料が、題材に応じて適切に配置されている。
5 創意工夫	○ 小学校における外国語活動の導入を踏まえ、「Get Ready」が設けられている。また、LESSON 1～3では、他と構成を変え、「聞くこと」を主眼にした活動からはじまっており、各 LESSON への学習がスムーズにできるようになっている。 ○ 「USE Read」では、音読した回数に応じて塗りつぶすためのボックスがあり、さらに「GET」で学んだ新出文法が繰り返し使用され、生徒が成れ親しみやすくなっている。 ○ 付録には「絵でわかる英語のしくみ」などがあり、語順や冠詞、英語の発想等、日本語との違いを具体的に理解できるようになっている。
6 使用上の便宜	○ 書体は本文には全学年ともブロック体を使用され、文字に対して生徒が戸惑うことがないように（特に a と g）配慮されている。
総合的な評価	○ 日本の伝統文化、異文化、社会理解、人間理解等について、幅広く題材が扱われており、言語材料の配置、内容の程度も発達段階に応じたものになっており、適している教科書である。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科(科目)名	英語
発行者名(番号)・教科書名	教出( 17 ) ONE WORLD English Course
1 取扱内容	○ 学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習要領に定める外国語(英語)科の目標を達成する上において、取り扱いは、その目標及び内容を踏まえたものになっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	○ 内容については、日本人の中学生と外国から来たクラスメイト、オーストラリア出身のALTによる日常生活の身近な場面における英語表現を取り扱い、生徒が興味・関心をもって学習できるようになっている。また、各LessonのPartごとに学習目標が設定され、生徒自らが確認しながら学習できるようになっている。 ○ 英語学習を通して、英語圏のみならず、広く世界に目を向けさせるとともに、日本の伝統文化を尊重し、生命、環境、福祉、平和問題などについて幅広く考えさせる題材が取り上げられている。 ○ 発展的な学習内容として、「Project」では、Lessonなどで積み上げてきた基礎的・基本的な知識及び技能を、異なる文脈や場面で使わせることによって、生徒自身が考えたり、発信したり、話し合ったりして何かを決めるといった体験ができるようになっている。
3 内容の程度	○ 言語材料、言語活動、題材内容などすべてにおいて、平易なものから段階的に指導できるよう配慮されており、コミュニケーションのレベルや題材の扱いなども生徒の心身の発達段階に応じたものになっている。
4 内容の構成及び配列	○ 全体を本編と付録にわけ、各LESSONは、「Hop」「Step」「Jump」で構成されている。 ○ 各LessonのPartは、左のページ下部に「基本文」、その下に「基本文についてのポイント」「本文の内容に関するCulture Notes」を置き、右ページ下には「聞くこと」「話すこと」「書くこと」の活動が置かれ、複数の技能を総合的に扱うことができる構成となっている。 ○ 本文、挿絵、写真、図表、練習問題、資料が、題材に応じて適切に配置されている。
5 創意工夫	○ 小学校における外国語活動の導入を踏まえ、「Springboard」が1年の最初に設けられ、小学校からの円滑な移行ができるようになっている。 ○ 「英語のしくみ」では、文構造・文法についてまとめられており、重要なポイントが見やすく、かつ理解しやすいように色分けされている。 ○ 付録には「辞書についていっしょに学ぼう」が置かれ、辞書指導が3年間にわたって段階的にできるようになっている。
6 使用上の便宜	○ 学習する基本文には、3年間にわたってブロック体が見やすくなっている。
7 その他	○ 別冊として、PLUS Dialog、PLUS Activityなどの活動を通して基本文や語句の定着が図れるようEssentials(赤色マーキングシート付き)が設けられている。
総合的な評価	○ 3年間を通して、発達段階に応じ英語での表現の幅が広げられるようになっており、やや適している教科書である。

平成28年度以降使用中学校教科用図書調査報告書

教科（科目）名	英語
発行者名（番号）・教科書名	光村（ 38 ） COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE
1 取扱内容	○ 学校教育法に定める義務教育の目標等及び学習要領に定める外国語（英語）科の目標を達成する上において、取り扱いは、その目標及び内容を踏まえたものになっており、適切である。
2 内容の選択及び扱い	○ 題材について、1年では自己紹介、友達や先生の紹介、放課後の活動、夏祭り、朝食、医者への診療相談、留学生から見た日本の生活など、2年ではティナのスピーチ、傷ついた子犬を拾う場面、夏休みの計画、沖縄への旅行、バンドの練習中のけんかなど、3年では外国人から見た日本、京都への修学旅行、カンボジアの小中学生、将来の夢、ティナのウェブサイト上での地球環境に関する意見交換などが扱われている。 ○ 英語の学習を通して、英語圏のみならず、広く世界に目を向けさせるとともに、人権、国際理解、異文化理解、福祉、平和、インターネットでの交流などについて、日常的な場面での会話も取り入れ、多彩な表現に触れることができるようになっている。 ○ 発展的な学習内容として、「Go for It!」が設けられており、学習したことを生かして「スピーチ」、「ディベート」「新聞記事を書く」等の活動を通して、自己表現が高められるようになっている。
3 内容の程度	○ 言語材料、言語活動、題材内容などすべてにおいて、平易なものから段階的に指導できるよう配慮されており、生徒の心身の発達段階に応じたものになっている。
4 内容の構成及び配列	○ 全編を本編、付録と巻末付録に分け、本編では、各「Unit」が3～4のパートに分かれており、中学生4人が出てくる Unit では会話表現が多くなっている。また、学習した文型・文法事項を確認する「Language Focus」、場面別に会話練習する「Skit Time」、読み物教材「Let's Read」、自己表現を高める「You Can Do It!」がある。 ○ 本文、挿絵、写真、図表、練習問題、資料が、題材に応じて必要な場所に適切に配置されている。
5 創意工夫	○ 小学校における外国語活動の導入を踏まえ、1年の「Let's Enjoy English」では外国語活動を経験し、英語の音声に慣れている生徒のために、英語の音と文字を結びつける活動が設定されている。 ○ 「You Coach」では、「辞書の使い方」「音読の仕方」「英文を読むコツ」「リスニングのコツ」などを親しみやすいイラストを用いて紹介し、生徒が英語学習の方法と目的を意識できるようになっている。 ○ 各 Unit の本文ページには、読み取った内容を日本語でまとめたり確認したりする問いがある。
6 使用上の便宜	○ 文字の大きさ、字間、行間などは、生徒の発達段階を考慮した見やすいものとなっている。
総合的な評価	○ 全体を通して、3年間を通して、発達段階に応じ英語での表現の幅が広げられるようになっており、やや適している教科書である。